



5/25
(木)

(公財) B&G 財団から受賞 子どもの見守りを貢献

5月25日、令和5年度南九州ブロック地域海洋センター連絡協議会総会において、海洋センターを活用した事業「B&G塾」の活動が、青少年の健全育成をはじめ地域の子育て支援に大いに貢献したと評価され、(公財) B&G財団の菅原悟志理事長から川添町長へ表彰状が手渡されました。

「B&G塾」は、令和元年から実施し、長期休暇中の子どもの見守りを目的としています。

夏休みなど子どもが1人で家で過ごす時間が増える状況に、学校やボランティア団体などが連携し、学習と体験活動が両立する居場所づくりを

賞状を手渡す菅原理事長(写真右)



実施しています。

5/30
(火)

就農トレーニング開催 スタイルを確立して

5月30日、日本マンダリンセンター4階(鷹巣)で県北薩地域振興局が主催し、就農トレーニング研修会を開催しました。

今回は、北薩地域の就農歴5年程度の柑橘農家向けに果樹の基礎知識や就農の基礎、経営方法の研修があり、受講者らは自身の経営スタイルと照らし合わせるように、うなずきながら話を聞いていました。

参加した西田学さん(阿久根市)は「自身のスタイルを極めていくきっかけになった。今回の研修で学んだことに一歩でも近づけるように頑張り

講師の話に耳を傾ける受講者



たい」と話しました。

6/2
(金)

長島ライオンズクラブが寄付 より良い図書館へ

6月2日、長島ライオンズクラブ(諏訪孝久会長)から町の図書館の蔵書の増刷を目的とした寄付がありました。

同クラブは、社会奉仕活動団体として花壇の手入れや献血活動、学校はがきを配布する「愛の定期便」絵画ポスターコンクールの開催などの活動を行っています。

諏訪会長は「購入される本は子どもから大人まで、町民に幅広く利用してほしい」と話しました。

寄付は、来年度で設立40周年を迎える同クラブの記念事業の一環です。

大浦慶子教育長に目録を手渡す諏訪会長(写真左)

